

おかえり・おいで!!
大分県

Interview

1

どうだ
羨ましいだろ!

大切な人が側に—
だから、頑張れる

株式会社 センコー企画

U
ターン

いとうはるや
伊藤 晴野さん

[22歳/大分市出身/前職:陸上自衛隊]



県外に出て改めて実感。やっぱり地元が一番です。

Q1. 大分に戻ろうと決めたのはなぜですか?

卒業後、調理師を経て、自衛隊に入隊。2年間、北海道の駐屯地にいました。Uターンしたのは大分にいる彼女との結婚を考えるようになったからです。また、親に何かあった時、すぐに駆けつけられる距離にいたいというのもありました。

Q2. 仕事はどうやって探したのですか?

自衛隊の「就職援護」という組織に相談して紹介してもらいました。建設業を選んだのは「カタチに残る仕事」に魅力を感じたからです。自衛隊で戦車を運転するために取得した大型特殊免許が活かせるのも大きかったですね。

Q3. 実際に大分で暮らしてみてどうですか?

北海道は広すぎて、どこに行くにも移動が大変。その点大分は程よく密集しているので便利です。あと、北海道が寒すぎたので大分の温暖な気候に癒されています(笑)。北海道で痛めた喉も大分に戻ってすぐに治りました。

Q4. 終業後や休日の過ごし方を教えてください。

好奇心旺盛なので、趣味が多すぎて困っています。一番はバイク。いろんなところにツーリングに行きます。キャンプや、スノボも好きです。自然豊かな大分には趣味を全て楽しめる環境が整っているので満足しています。

Q5. 県や市の支援制度はどうでしたか?

支援制度を知らなくて、今年の春に戻った時はなにも利用しませんでした。その後「大分市の移住支援金の対象かも」と気づき、今条件など調べているところです。今更ながら情報収集の大切さを痛感しています。

Q6. あなたの仕事を教えてください。

舗装・土木会社の一員として道路をつくっています。完成した道路を自分の車で走ったとき、「ああ、自分の手でカタチに残るものをつくれたんだ」と嬉しくなります。経験を積んで、道路舗装の指揮を取るアスファルトフィニッシャーマンになるのが目標です。

Q7. 移住を検討している方に伝えたいこと

大分ほど暮らしやすい場所はありません。気候もいいし、街からちょっと車を走らせれば大自然がある。昼は賑やかなのに、夜静かなのも魅力です。まさに“いいとこ取り”のメリハリの効いた生活を送ることができます。



再就職
企業



株式会社 センコー企画

〒870-0318
大分市大字丹生
193番地の6
TEL: 097-593-3633



<http://www.senko-planning.com/index.php>